ぐう数・き数の　ぶどう算　①

小5／数を　○と　●に　かえて　きまりを　見つけよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

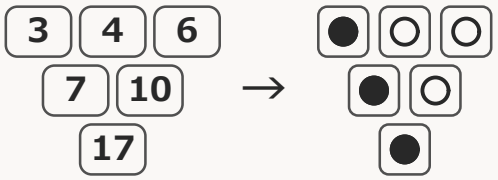
ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

- ○と　●は、数が　ぐう数か　き数かを　あらわす　しるし。ぐう数は　2で　わりきれる　数（0，2，4，6…）で　○（ふちだけの　まる）。き数は　2で　わると　1　あまる　数（1，3，5，7…）で　●（ぬりつぶした　まる）。書くときも　同じ。
- ぶどう算は、となりあう　2つの　数を　たして、2つの　間の　下の　ますに　書く。
- ①は、左の　数の　ぶどうが　できあがって　いる。右の　○と　●の　ぶどうの　□に、左の　数の　ぶどうと　同じ　位置（上から　同じ　だん目で、左から　同じ　ばん目）の　数が　ぐう数なら　○、き数なら　●　を　書こう。（下の　れいを　見よう）
- ②は、①が　終わってから、きまり表の　行を　1つずつ　うめる。たとえば　●と　○の　行（4行目）なら、①の　○●の　ぶどうの　中から　●と　○が　となりあって　いる　ところを　1つ　さがし（1〜3行目も、その　行の　左の　2つの　しるしが　となりあう　ところを　さがす）、その　2つの　間の　下の　○か　●　を、その　行の　一番　右の　□に　書く。①の　(1)〜(4)の　どれを　見ても　よい（どの　ならびも　①に　出て　くる）。（れいを　見よう）

数の　ならびと　しるし（まよったら　見よう）

0も　ぐう数。ぐう数と　き数は　1つずつ　ならぶ。

れい　数を　○と　●に　かえる

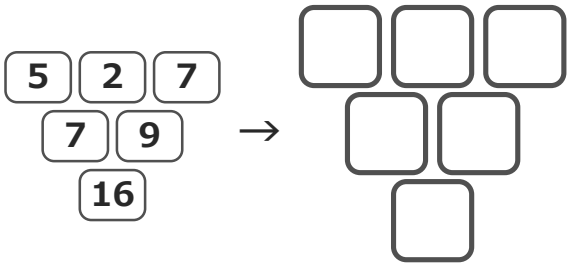


のこりも　同じ。17は　き数だから　●。

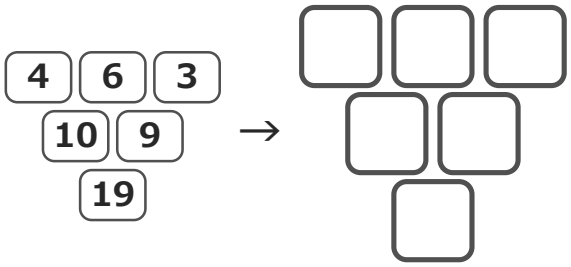
3は　き数　→　●
4は　ぐう数　→　○
7は　き数　→　●
10は　ぐう数　→　○

①　数の　ぶどうを　○と　●の　ぶどうに　かえよう

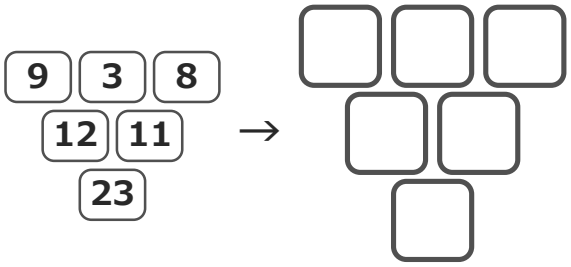
(1)



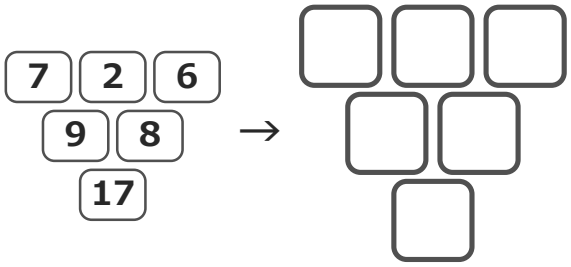
(2)



(3)



(4)



②　きまり表を　完成させよう（①の　○●の　ぶどうを　見る）

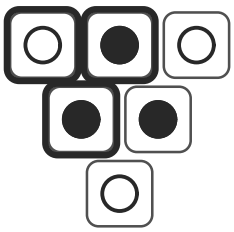
1 ○ ＋ ○ ＝ □

2 ● ＋ ● ＝ □

3 ○ ＋ ● ＝ □

4 ● ＋ ○ ＝ □

よみ方の　れい



上の　となりあう　2つは　○　と　●。
その　2つの　間の　下は　●。
→　○と　●を　たすと　●　に　なる。
こんな　ふうに　①の　ぶどうから
4つの　行の　こたえを　見つけよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「ぶどう算プリント」のプリント一覧がひらきます

ぐう数・き数の　ぶどう算　②

小5／○と　●だけで　3だんを　うめよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

- ぐう数（2で　わりきれる　数）は　○（ふちだけ）、き数（2で　わると　1　あまる　数）は　●（ぬりつぶす）。この紙では、ぶどうの　□に　数は　書かず、○か　●　だけを　書く。計算は　しない。
- きまり表は、左の　2つを　たすと　右の　しるしに　なる　という　きまり。たとえば　3行目の　○＋●＝●は、ぐう数＋き数の　答えは　き数、という　こと。（　）の　中は、数で　たしかめた　れい。
- うめ方は、ぶどうの　となりあう　2つを　見て、同じ　ならびの　行（左の　2つの　しるしが　同じ組み合わせの　行）を　表から　さがし、右の　しるしを　2つの　間の　下の　□に　書く。
- おぼえ方は、表の　きまりを　みじかく　した　もの。となりあう　2つが　同じ（○○か　●●）なら　下は○、ちがう（○●か　●○）なら　下は　●。表を　見ても、おぼえ方を　つかっても、どちらで　書いても　よい。
- ふとい　わくの　□が　書く　ところ。①の　(1)(2)は　2だん目の　左の　○●が　先に　書いてある。②は上の　だんの　○●だけが　書いてあり、下の　だんは　全部　自分で　書く。
- こまったら、れいの　ように　1つずつ　声に　出して　表の　行を　さがそう。

きまり表

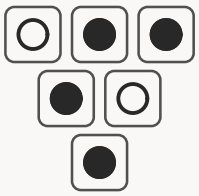
1 ○ ＋ ○ ＝ ○　ぐう数＋ぐう数＝ぐう数　（2＋4＝6）

2 ● ＋ ● ＝ ○　き数＋き数＝ぐう数　（3＋5＝8）

3 ○ ＋ ● ＝ ●　ぐう数＋き数＝き数　（2＋3＝5）

4 ● ＋ ○ ＝ ●　き数＋ぐう数＝き数　（3＋2＝5）

れい　このように　1つずつ　うめる

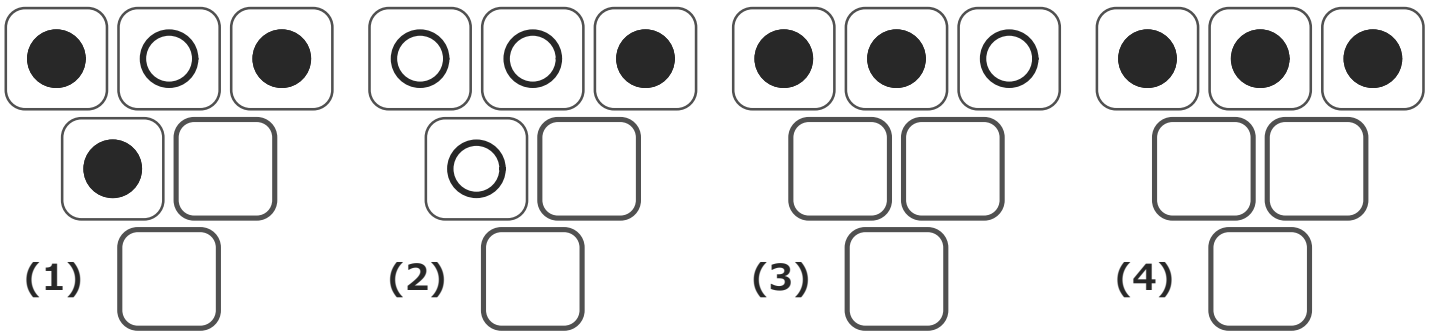


2だん目の　左：○と　●は　ちがう　→　●（3行目）

2だん目の　右：●と　●は　同じ　→　○（2行目）

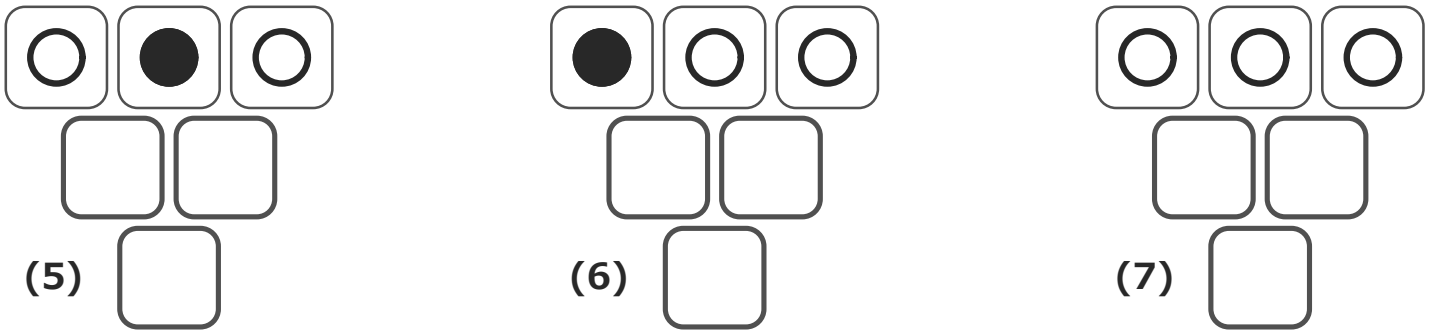
一番　下：●と　○は　ちがう　→　●（4行目）

①　3だんの　ぶどうを　○と　●で　うめよう　※(1)(2)は　2だん目の　左が　書いてある



(1)　(2)　(3)　(4)

②　全部　自分で　○と　●で　うめよう



(5)　(6)　(7)

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「ぶどう算プリント」のプリント一覧がひらきます

ぐう数・き数の　ぶどう算　③

小5／4だん・5だんを　うめて　数で　たしかめよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

- ぐう数（2で　わりきれる　数）は　○（ふちだけ）、き数（2で　わると　1　あまる　数）は　●（ぬりつぶす）。きまり表の　つかい方は、となりあう　2つを　見て、同じ　ならびの　行を　さがし、その　行の　右の　しるしを　2つの　間の　下に　書く。だんが　ふえても　やり方は　同じで、上の　だんから　1だんずつ　下へ　書く。
- ①は、○と　●だけで　ぶどうを　一番　下まで　うめる。(1)(2)は　4だん、(3)は　5だんの　ぶどう。
- ②の　2つの　数の　ぶどうは、左が　①の　(1)、右が　①の　(2)と　同じ　ぐう数・き数の　ならびに　なっている（ぶどうの　左に　①の　(1)、①の　(2)と　書いてある）。一番　上の　数の　上の　○か　●　は、その　数が　ぐう数か　き数かを　あらわす　しるしで、もう　印刷して　ある。数の　ぶどうは、となりあう　2つの　数を　たして　下に　書く　ふつうの　ぶどう算。計算で　うめて、一番　下の　数が　ぐう数なら　○、き数なら　●　を　ぶどうの　右に　ある　□（1つ）に　書く。その　○か　●　を、左の　ぶどうは　①の　(1)、右の　ぶどうは　①の　(2)の　一番　下の　○●と　くらべる（くらべた　結果は　書かない）。同じなら　合っている。
- 一番　下が　合わなかったら、②の　数の　ぶどうと、くらべた　①の　○●の　ぶどうを、上の　だんから　同じ　だん　どうして　くらべて、はじめに　ちがう　場所を　さがし、数の　計算か　○●の　きまりの　見まちがいを　直そう。

きまり表

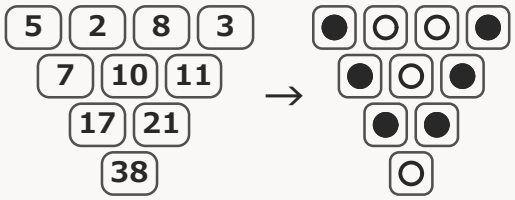
1 ○ ＋ ○ ＝ ○　ぐう数＋ぐう数＝ぐう数　（2＋4＝6）

2 ● ＋ ● ＝ ○　き数＋き数＝ぐう数　（3＋5＝8）

3 ○ ＋ ● ＝ ●　ぐう数＋き数＝き数　（2＋3＝5）

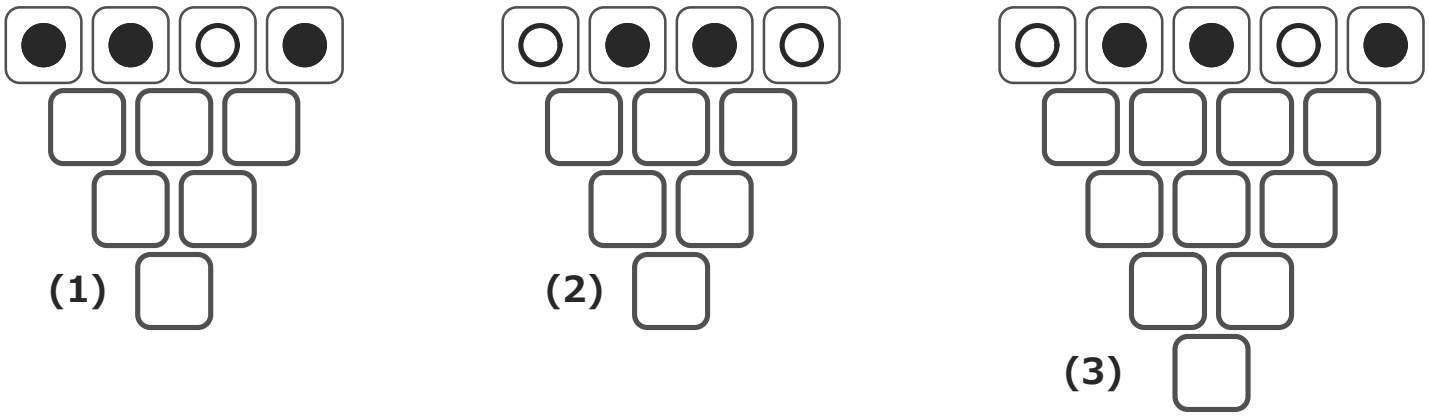
4 ● ＋ ○ ＝ ●　き数＋ぐう数＝き数　（3＋2＝5）

れい　○●の　ぶどうと　数の　ぶどう

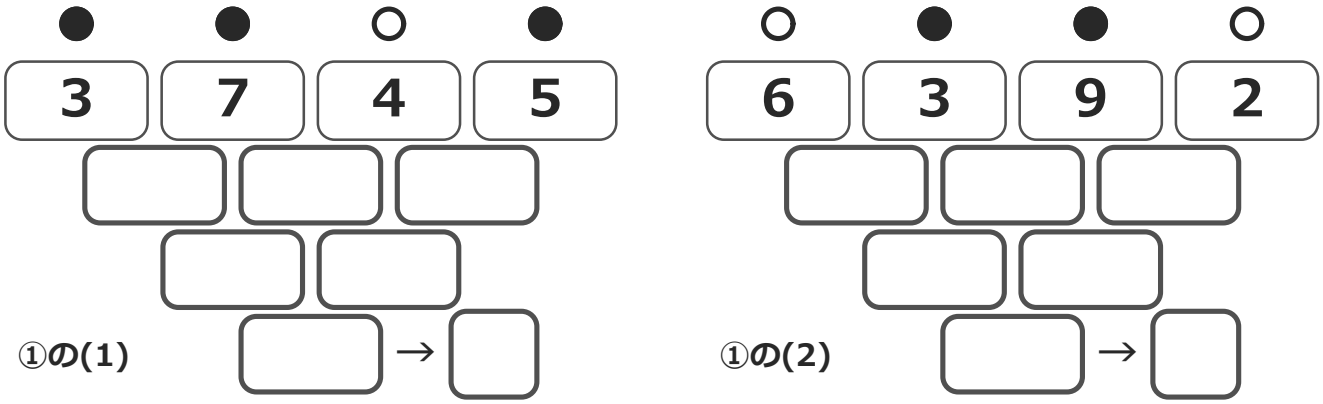


数の　ぶどうの　一番　下は　38（ぐう数）だから　○。
○●の　ぶどうの　一番　下も　○。同じに　なった。

①　○と　●で　うめて、一番　下の　○●を　予想しよう



②　数で　たしかめよう　一番　下の　数が　ぐう数なら　○、き数なら　●　を　□に



いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「ぶどう算プリント」のプリント一覧がひらきます

ぐう数・き数の　ぶどう算　④

小5／きまり表を　自分で　つくって　つかおう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

- この　紙の　きまり表は、右はしの　□が　空らんで、まだ　完成して　いない。①で　自分で　表を　完成させて、②で　つかおう。
- ぐう数（2で　わりきれる　数）は　○（ふちだけ）、き数（2で　わると　1　あまる　数）は　●（ぬりつぶす）。
- 表は、左の　2つの　しるしに　当てはまる　数を　たした　答えが、ぐう数なら　○、き数なら　●　に　なる、という　きまり。その　しるしを　一番　右の　□に　書く。
- ①は、きまり表の　各行（1〜4行目）の　右に、数の　れいが　2つずつ　ならんで　いる。同じ　行の　2つの　れいは、答えが　同じ　しるし（ぐう数か　き数か）に　なる。れいを　計算して、答えが　ぐう数なら　○、き数なら　●　と　しらべ、同じ　行の　きまり表の　一番　右の　□に　○か　●　を　書く。れいの　□には　答えの　数を　書く。（れいを　見よう）
- ②は、①で　完成させた　表を　見ながら、4だんの　ぶどうを　○と　●だけで　うめる。となりあう　2つに　合う　行を　表から　さがし、右の　しるしを　2つの　間の　下に　書く。
- ふとい　わくの　□が　書く　ところ。①で　表の　□の　しるしが　決められない　ときは、その　行の　2つの　しるしに　合う　数を　自分で　えらび、たして　答えが　ぐう数か　き数かを　しらべよう。

れい　5+8　を　調べる

5　+　8　=　13

●　　○　　●

5は　き数だから　●、8は　ぐう数だから　○。
5＋8＝13。13は　き数だから　●。
だから　表の　●＋○　の　行の　□には　●　が　入る。

①　数の　れいを　計算して、きまり表を　完成させよう

しらべる　れい（計算して　答えを　□に　書き、答えが　ぐう数か　き数かを　見る）

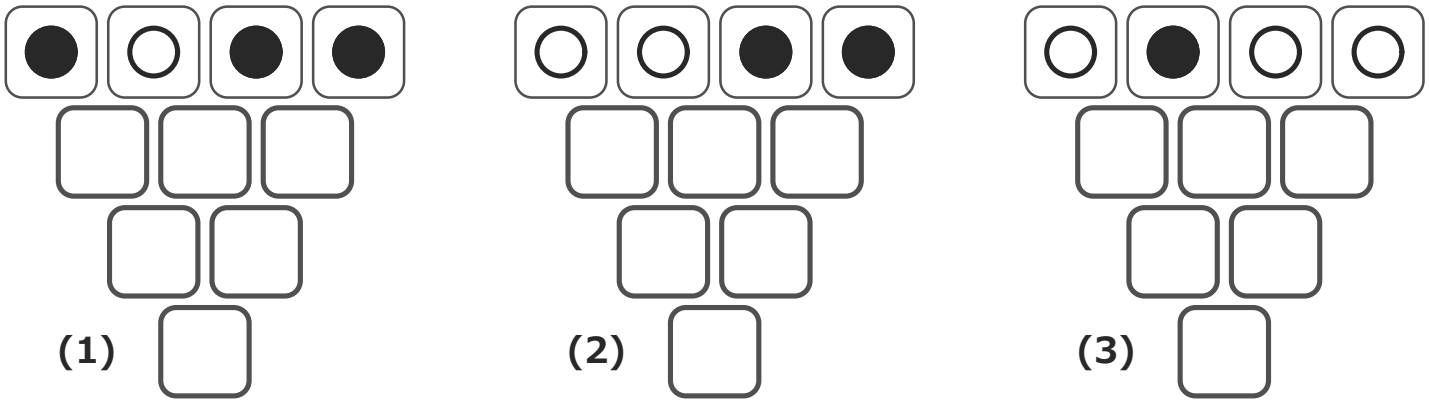
1　○ + ○ = □　　6 + 8 = □　　12 + 4 = □

2　● + ● = □　　7 + 5 = □　　9 + 13 = □

3　○ + ● = □　　4 + 9 = □　　10 + 7 = □

4　● + ○ = □　　3 + 8 = □　　15 + 6 = □

②　①で　完成させた　表を　見ながら、4だんを　○と　●で　うめよう



いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「ぶどう算プリント」のプリント一覧がひらきます

ぐう数・き数の　ぶどう算　⑤

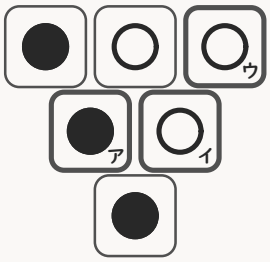
小5／きまり表なしで　ぬけた　○●を　さがそう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

- この　紙には　完成した　きまり表は　ない。ぐう数（2で　わりきれる　数）は　○（ふちだけ）、き数（2で　わると　1あまる　数）は　●（ぬりつぶす）。○と　●の　たし算の　きまりを　わすれたら、れいの　右に　ある　メモらん（右はしの　□が　空らんの　表）の　□に　○か　●　を　書いて　よい。
- 上から　下へは、となりあう　2つが　同じ（○○か　●●）なら　下は　○、ちがう（○●か　●○）なら　下は　●。
- 下から　上へは、下が　○　なら　上の　2つは　同じ、下が　●　なら　上の　2つは　ちがう。上の　1つと　下が　分かれば、もう　1つの　上が　決まる。
- ぶどうの　中の　先に　書いてある　○●を　見て、となりあう　2つと、その　2つの　間の　下の　1つ（あわせて　3つ）の　うち　2つが　分かる　ところを　さがし、のこりの　1つを　決める。決めた　○●は、ほかの　ところを　決める　ヒントに　つかえる。
- ふとい　わくの　□が　書く　ところ。どの　問題も　答えは　1つに　決まる。①は　3だん、②は　4だんの　ぶどう。①から　じゅんに　全部　やる。

れい　ぬけた　○●を　決める（ふとい　わくが　ぬけて　いた　ところ）



アの　□：上の　2つ（●と　○）が　ちがう　ので、●

イの　□：イの　□と　左どなりの　□（●）。この　2つの　間の　すぐ　下の　□は　●。下が　●　なら　2つは　ちがう。だから　○

ウの　□：ウの　□と　左どなりの　□（○）。この　2つの　間の　すぐ　下の　□は　○。下が　○　なら　2つは　同じ。だから　○

メモらん（かかなくて　よい）

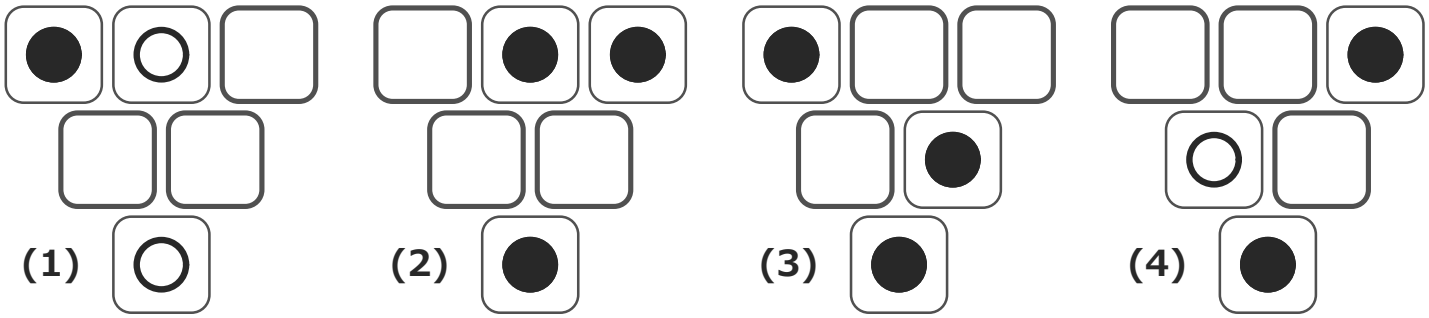
1 ○ ＋ ○ ＝ □

2 ● ＋ ● ＝ □

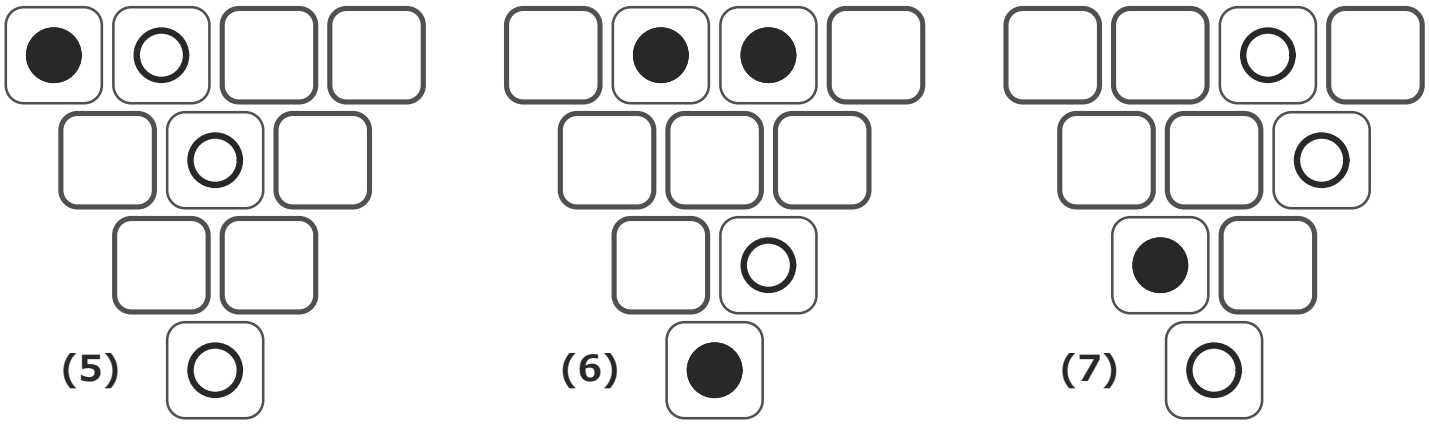
3 ○ ＋ ● ＝ □

4 ● ＋ ○ ＝ □

①　3だんの　ぶどうの　ぬけた　○●を　さがして　書こう



②　4だんの　ぶどうの　ぬけた　○●を　さがして　書こう



いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「ぶどう算プリント」のプリント一覧がひらきます